# 行政評価シート（事務事業評価）

| 評価年度 | 28年度 |
|---|---|

| 事業名 | 史跡新府城跡環境整備事業 | 担当課 | 教育課 |
|---|---|---|---|
| 細分化した事業名 | 史跡新府城跡環境整備・史跡新府城跡発掘調査 | | |

## 1 計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

| | | |
|---|---|---|
| 第6次長期総合計画での目的体系 | 基本方向 | 魅力あるまちづくり |
| | 政策 | 次代へつなぐ歴史・文化の醸成 |
| | 施策 | 地域文化の創造・継承 |
| 関連する個別計画等 | 史跡新府城跡整備基本構想等 | 根拠条例等 |

## 2 計画（PLAN）：事務事業の概要

| | |
|---|---|
| 事業の目的 | 史跡新府城跡を史跡史跡公園として整備し、市民及び来訪者に対し、歴史文化を学習・継承する場として還元する。 |
| 事業の手段 | 発掘調査成果等に基づき、史跡新府城跡保存整備委員会等において協議をおこない、遺構の保存を行いながら、調査成果等を来訪者に対して還元するために、案内板設置・修景整備・遺構整備をおこなう。 |
| 事業の対象 | 史跡新府城跡 |

## 3 実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

| | | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|---|---|---|---|---|
| A 事業費 | （千円） | 11,884 | 10,416 | 13,914 |
| 財源内訳 | 国・県支出金 | 9,616 | 7,028 | 10,315 |
| | その他（使用料・借入金ほか） | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 2,268 | 3,388 | 3,599 |
| B 担当職員数（職員 E） | （人） | 0.86 | 0.97 | 1.04 |
| C 人件費(平均人件費×E) | （千円） | 5,582 | 6,590 | 6,984 |
| D 総事業費(A+C) | （千円） | 17,466 | 17,006 | 20,898 |

| | |
|---|---|
| 主な事業費用の説明 | 調査費<br>整備費 |

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

## 4 実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

| | | 指標名 | 指標の算出方法 | 実績値 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動指標 | 1 | 調査面積 | | | | |
| | 2 | 整備面積 | | | | |
| | 3 | | | | | |

| | | |
|---|---|---|
| 妥当性 | | □ A 妥当である　■ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない |
| 上記活動指標と妥当性の説明 | 1 | 整備をするための事前に内容を把握した調査面積。 |
| | 2 | 調査内容を整備に反映した面積。 |
| | 3 | |

## 5 評価（CHECK）： 事務事業評価 （アウトカム＝成果・効果）

| | | 指標名 | 指標の算出方法 | 実績値 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 |
| 成果指標もしくはまちづくり指標 | 1 | 案内板設置割合 | 第１期整備地区史跡内の案内板設置数／予定数 | 53.8% | 53.8% | 76.9% |
| | 2 | 第１期整備地点割合 | 整備地点累計／整備予定地点数 | 90% | 90% | 100% |
| | 3 | 当該年度整備対象地整備割合 | 当該年度整備終了地点数／当該年度整備対象地点数 | 100% | 100% | 100% |

| 成 果 | | |
|---|---|---|
| | | □ A 上がっている　■ B ほぼ上がっている　□ C 上がっていない |
| 上記指標の妥当性と成果の内容説明 | 1 | 来訪者への情報提供をおこない史跡の本質的な価値を伝えるために案内板の設置は欠かせないことから、設置数を指標とすることは妥当。<br>第１期整備地区のうち主たる整備地点についての案内板については設置済み。第１期整備で未設置箇所については第２期整備計画で実施する予定であり、成果はほぼ上っている。 |
| | 2 | 史跡新府城跡保存整備基本計画にほぼ準じた形で進行した。 |
| | 3 | 修景整備・遺構整備については終了。案内板の一部が第２期整備により設置予定であることから、ほぼ上っている。 |

| 事務事業総合評価 | □ A 期待以上に達成　■ B 期待どおりに達成　□ C 期待以下の達成 |
|---|---|

## 6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

| 今後の事業展開 | □ 拡大（コストを集中的に投入する）<br>□ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要）<br>□ 廃止（廃止の検討が必要）<br>■ 一部改善（事務的な改善を実施する）<br>□ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） |
|---|---|
| 事務事業の改善案 | 改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）<br>28 年度の改善計画（今後の事業展開説明）<br>第２期整備として着手した新府城の南側部分（大手丸馬出地区）の調査及び整備をおこなう。<br>また、これまでの成果及び今後の研究成果等の情報提供を行うためのガイダンス施設計画について着手する。 |
| 過去の改善経過 | |
| 課長所見 | 整備計画第２期の主要事業であるガイダンス施設の建設に向け環境を整えていきたい。 |